

Car Entertainment Magazine

GENROCK

[ゲンロク]

2006
MAR. No241
780Yen

3

Ferrari
New Legend

フェラーリ新伝説

599GTBデビュー!

F430 in ニュルテスト/612スカリエッティ再考
エンツォの長距離テスト

Theory of Evolution

ランボルギーニ 進化論

ミウラ・コンセプト登場!

ガヤルドMY06の衝撃
ガヤルド・スパイダー初試乗



New
PORSCHE WORLD!

ポルシェ再燃

997ターボの全容!

ケイマンS日本上陸/Scoop! 997GT3
近未来ポルシェを予測/カイエン・ターボS

New British Special!

新ブリティッシュネス

4ドアのアストン“ラピード”公開!

TVRサガリス&タスカン・コンバーチブル
ノーブルM400/ロータス・エクシージMY06

Miura 40th Anniversary Vol.2

ミウラの真実 第二章「革新の奇蹟」

DETROIT SHOW REPORT

メルセデスS65AMG&GLクラス ダッチ・チャレンジャー 他

SHOP REPORT

メルセデス・ベンツ 特選ショップ

IN JAPAN

ベントレー・フライングスパー

野生馬と化す「サラブレッド」 控えめな造形から発する サウンド・ミューズックに酔う

に凌ぐパワー&トルク、徹底された空力計算によって造形されたエアロダイナミクスなど、サラブレッドを改良することで自由に地を駆ける野生馬のように仕立ててしまった。

F430へもこのF360プロジェクトのノウハウを生かしながらも、今世紀の最高傑作と称されるF430の良い部分を生かさず殺さずハイパフォーマンスへと導いている。試乗した車両は、カーボンエアボックスとスポーツエアフィルターによる吸入抵抗低減に加えて、ECUのアップグレード、さらにスピードリミットのカットオフ、レブリミットは8850rpmに設定したパワーステージ2というチューニングを施したものだ。これに加えてスポーツメタルキャタライザーの搭載、ステンレスエキゾーストシステムの装着による排気効率の向上を図り、最高出力は520psを発揮、最高速度はノーマル16km/h||321km/hとなる。最上級のチューニングは、ツインスーパーチャージャーに専用オイルライン、パイピングの取りまわし専用ラジエーター付き水冷インタークーラー、ウォーターポンプ、強化型リベルト、追加インジェクター、ECUのアップグレードで最高出力636psを叩き出すメニユーも用意。足まわりは、ステンレス製シエルケース別体型リザーバタンク付の減衰力調整付サスペンションキット十

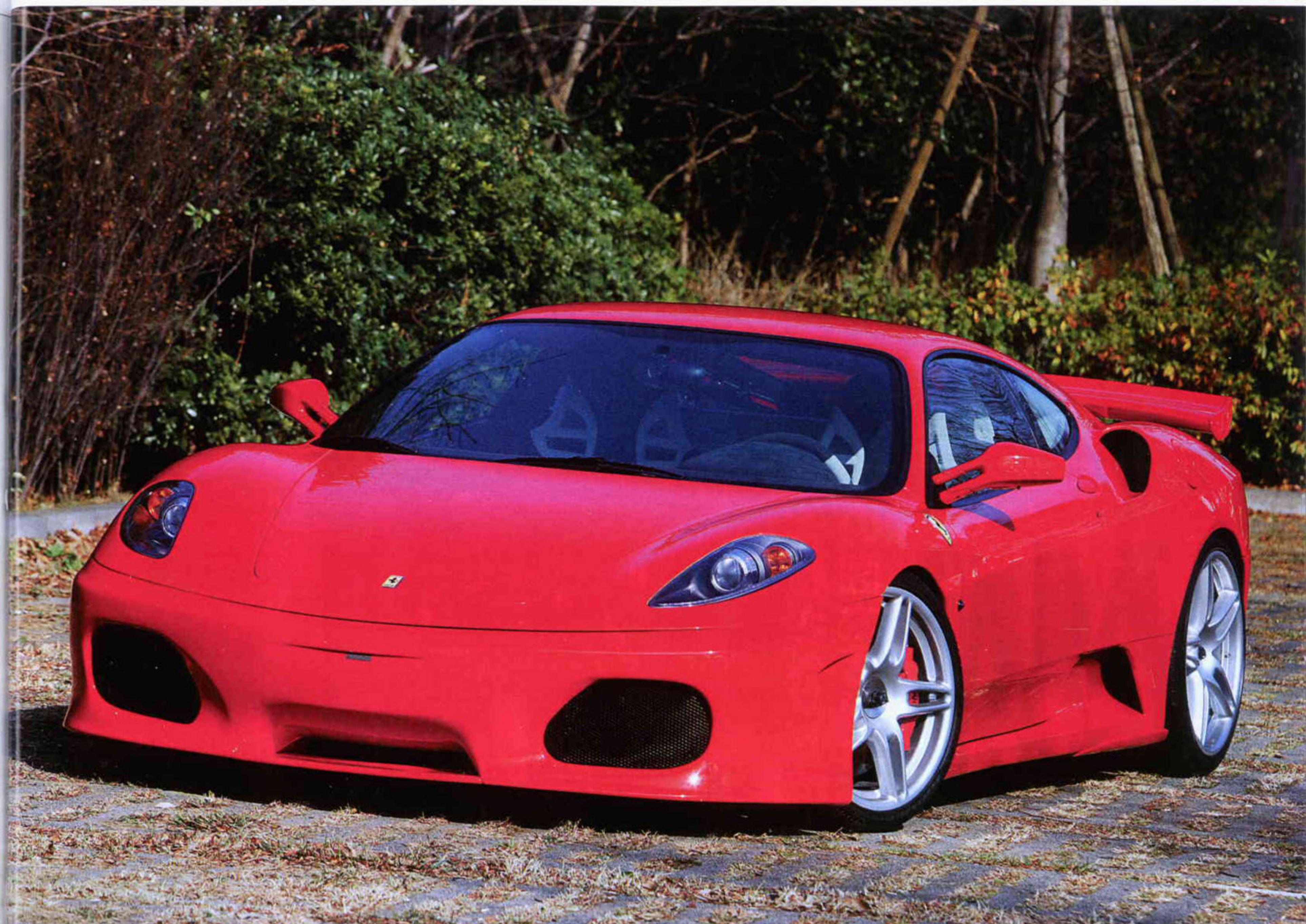
1.半楕円形のレーシーなステアリングホイールは、バックスキン加工が施されグリップも良好。2.アルミ製のペダルは、MT用とF1用が用意されフットレストは運転席/助手席用がある。3.1脚の重量はわずか7kgというカーボンファイバー製のバケットシート。ホールド性も高い。4.パワーステージ2のチューニングが施されたエンジン。Maxパワーはノーマル比+30psだ。5.Ⓔ 225/30ZR19、Ⓕ 345/25ZR20にピレリP-ZERO ROSSOを合わせた足まわり。



フロントのバンパースポイラーに加え、リヤセクションでは、ディフューザー部分をボディ同色としたリヤスカートも装着。リヤウイングは2段階の可変機構付き。テールランプはブラックレンズも用意され、ご覧のように印象も大きく変わる。

スポーツスプリングキット+スタビライザーキットを装着。フロント19インチ、リヤ20インチセンターロックとなるNF1、タイヤはピレリのP-ZERO ROSSOを履く。エアロダイナミクスは、フロント/リヤ/サイド、そして2段階調整式のリヤウイングで構成。これはすでに本場でセッティングが施されたコンプリートカーという括りになる仕様だ。もちろん、すべてのパーツは販売されているので、好みに合わせた装着も可能としているのだ。

野生馬のドライブは意外に簡単であった。もっと構えて、そして緊張感に包まれた空間を予想していたが、ベース車のF430同様に乗りやすく速い最高傑作そのもの。しかし、学習の力の高い最新F1システムにうつつを抜かしていると、ノビテックのハイパフォーマンスエンジンのパワーが襲い掛かってくる。3000rpmから発する怒涛の加速力、それに伴いレーシーな足まわりが、乗り手を素晴らしい空間へと誘う。乾いたフェラーリ製V8サウンドにノビテック・エッセンスの加わった迫力のエキゾーストノート……。これだけのチューニングが施されながらも「扱いやすい」。誰にも劣らぬ個性を内に外に誇りさせながらも、だ。



NOVITEC ROSSO F430

歴代のV8フェラーリはすべてにおいてサラブレッドだった。フェラーリF430は、生まれついた血統、与えられた遺伝子を受け継ぎ、競走馬としてサラブレッドの名を冠するために生まれた今世紀の最高傑作。その品種をマテリアルにゲルマンチューナー“ノビテック”が野生馬の如く調教を与えたのがノビテック・ロッソF430だ。



サ ラブレッドとは、競走用に品種改良された馬を指す。フェラーリの場合、まさにこの名の通り“速く走るために徹底的に改良”されたクルマとなる。しかし、乗り手を選ぶ競走馬とは違い、F430は“乗り易い”という要素が付加される。そんなフェラーリ製サラブレッドを調教の如く、チューニングを施したのがノビテック・ロッソF430である。ノビテックは、ドイツに拠点を置くチューナー。先代となるF

360をマテリアルに立ち上がった「ROSSO F360プロジェクト」で一躍フェラーリのチューナーとして名乗りを上げることになる。F360プロジェクトは、競走馬を調教するかの如く、フェラーリの根本的な部分の変更はせずによりハイクオリティで、かつハイセンス、そしてモアパワーを与えることだった。結果として生まれたのが606ps/62・7kgmを達成するツインコンプレッサーだ。ベースモデルをはるか